

科目 37

|  |                                |         |    |      |
|--|--------------------------------|---------|----|------|
| 科目名  | 地域経済産業論<br>Regional Innovation |         | 選択 | 2 単位 |
| 学期・曜日・時限   | 秋・火・4 限                        | 秋・火・5 限 | -  | -    |
| 担当教員名  | 秦 信行                           | e-mail  |    |      |
| <p>&lt;講義の概要と目的&gt;</p> <p>地方創生が現状日本の大きな課題の一つとなっている。不振が続いている地域経済の原因を明らかにすると同時に、その活性化に向けた対策を議論していきたい。</p> <p>&lt;到達目標&gt;</p> <p>地域経済を活性化する方策として何があるのか、現状の幾つかの事例を参考にしながら具体的な施策を提案することを目的としたい。</p> <p>&lt;アクティブ・ラーニング要素&gt;</p> <p>基本的には教員の講義を中心とするが、講義の中で質問をするのでそれに答える形で履修生も積極的に発言を望みたい。加えて、講義の最後の方は履修生にプレゼンをしてもらうので、そのプレゼンに対して質疑応答の形をとりたい。</p>   |                                |         |    |      |
| <p>&lt;講義計画&gt;</p> <p>1 回目：イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：教員と履修生ともに自己紹介を行う。加えてこの講義の概要を説明する。</li> </ul> <p>2 回目：産業集積の事例と意義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：戦後の日本全体の経済発展を振り返り、産業集積の幾つかのパターンと意義を考える。</li> </ul> <p>3 回目：産業集積の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：産業集積の経済的効果である幾つかの経済外部効果について検討する。</li> </ul> <p>4 回目：産業クラスターの意義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：ポーターなどの産業クラスター論を中心に産業クラスターの意義を議論する。</li> </ul> <p>5 回目：産業クラスターとしてのシリコンバレー（DVD 視聴）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：ハイテク産業を中心とした産業クラスターのモデルであるシリコンバレーについて話す。</li> </ul> <p>6 回目：日本の産業クラスター構想の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：2000 年以降日本でも取り組まれてきた産業クラスター構想について講義する。</li> </ul> <p>7 回目：富山和彦『なぜローカル経済から日本甦るのか』を読む（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：富山氏のグローバルの世界とローカルの世界を 2 分する考え方の是非を考える。</li> </ul> <p>8 回目：富山和彦『なぜローカル経済から日本甦るのか』を読む（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：ローカルな世界の経済構造を紹介し、今後のローカルな世界の在り方を議論する。</li> </ul> <p>9 回目：外部講師（未定）の講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：外部講師を招聘して地域産業の状況等についての講義を行ってもらう。</li> </ul> <p>10 回目：外部講師（未定）の講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：外部講師を招聘して地域産業の状況等についての講義を行ってもらう。</li> </ul> <p>11 回目：履修生によるプレゼンテーションと議論（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：地方創生の成功事例の探索と紹介</li> </ul> <p>12 回目：履修生によるプレゼンテーションと議論（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：地方創生の成功事例の探索と紹介</li> </ul> |                                |         |    |      |

13 回目：履修生によるプレゼンテーションと議論(3)

- ・要点：地方創生の成功事例の探索と紹介

14 回目：履修生によるプレゼンテーション と議論(4)

- ・要点：地方創生の成功事例の探索と紹介

15 回目：まとめ

- ・要点：14 回の授業の総括

<講義の進め方>

講義においては毎回レジュメを配布しそれに沿って講義する。

<事前事後学修内容>。

毎回レジュメのほかに関連資料を配布するのでそれを読んでおくこと。

<予習・復習時間>

各回の予習・復習には計 4 時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示をします。

<教科書及び教材>

教科書は特に設けない。NHK 特集「シリコンバレーの挑戦者」を視聴

<参考書>

富山和彦『なぜローカル経済から日本は甦るのか』PHP 新書  
西澤昭夫・大滝義博『大学発バイオベンチャー成功の条件』創成社  
西澤昭夫・忽那憲治ほか『ハイテク産業を創る地域エコシステム』有斐閣  
清成忠男・橋本寿朗『日本型産業集積の未来像』日本経済新聞社

<成績評価方法>

欠席 6 回以上は成績評価しない。  
クラス貢献度、プレゼン、課題の 3 つを 5 : 3 : 2 で評価する。

<課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法>

課題は 3 つ以上出したい。提出された課題は評価して履修生に返す。

<履修条件>

積極的に発言できる人を望む。

<DVD による視聴> 可

<オフィスアワー>

火曜日の 4 限と 5 限の間をオフィスアワーとする。

<その他>

特になし。